

「問い」が生まれる授業のポイント（特別活動：学級活動の例）

～ 協働して諸問題を解決しようとする自主的・実践的な学習過程を重視 ～

学級活動は、児童生徒が自主的、実践的な活動を積み重ねることで、自己の自治的能力や自己指導能力、自己実現の力を高める活動です。従って、問題の解決の必要性を共有するとともに、話し合いの計画を立て、解決に向けて自分の考えや問いがもてるようにすることが重要です。そのためには、以下の学級活動(1)(2)(3)のそれぞれの活動の特質を踏まえた学習過程とする必要があります。

- ☆ 合意形成する話し合い活動を通して取り組む学級活動(1)「学級や学校における生活づくりへの参画」
- ☆ 話し合いを生かして具体的な実践方法等を意思決定する学級活動(2)「日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」及び学級活動(3)「一人一人のキャリア形成と自己実現」

学習過程の例

学級活動(1)

学級活動(2)(3)

事前の活動

1 問題の発見・確認
学級や学校における生活上の諸問題から課題を見だし、学級全員で「**議題**」を決定しましょう。

1 問題の発見・確認
日常生活における共通の問題から教師が「**題材**」を設定しましょう。

本時の活動・話し合い活動

2 解決方法等の話し合い
(問題の原因) 取り組む内容や方法、役割分担などについて意見を出し合ったり、比べ合ったりしながら話し合しましょう。

2 解決方法等の話し合い
(教材や自分の問題の現状を把握) 原因や改善の必要性を探ったり、具体的な解決方法などについて話し合しましょう。

※ () 内は、中学校

3 解決方法の決定
意見の違いや多様性を認め合い、折り合いをつけて集団としての「**合意形成**」を図りましょう。

3 解決方法の決定
話し合いで見付けた解決方法等を参考に、自分に合った具体的な解決方法や個人目標を一人一人に「**意思決定**」させましょう。

事後の活動

4 決めたことの実践
決定したことについて、自己の役割を果たしたり、互いのよさを生かして協働して(責任をもって)実践したりする。

4 決めたことの実践
意思決定した解決方法や活動内容について、目標の実現に向け、個人で実践し粘り強く努力させるようにしましょう。

5 振り返り
一連の実践の成果や課題を振り返り、次の課題解決に生かしたり、実践の継続や新たな課題の発見につなげたりしましょう。

5 振り返り
実践を定期的に振り返り、意識化を図ることで、次の課題解決に生かしたり、実践の継続や新たな課題の発見につなげたりしましょう。

次の課題解決へ

次の課題解決へ

「話し合い」の充実を図る事前活動・学級会の工夫・次につなげる事後活動

学級活動(1)

児童生徒の思いや願いを中心に据え、発達の段階に応じた教師の適切な指導・助言で、児童生徒が提案理由を踏まえながら自分たちでよりよい合意形成ができるようにしましょう。

学級活動(2)

資料を効果的に活用し、日々の生活向上のため、一人一人が自らの生活や学習の目標を決め、実現に向けて取り組むことができるようにしましょう。

学級活動(3)

これまでを振り返り、これからの学びや生き方を見通しながら、個人目標を意思決定し、実現に向けて実践できるようにしましょう。(キャリア教育の視点重視)

事前活動

児童生徒が問題の発見

- ◇ 適切かどうか教師とともに判断

共通の問題の選定

- ◇ 問題意識を共有できるもの

全員で話し合う議題の決定

- ◇ 「議題」の決定

活動計画の作成(計画委員会)

- ◇ 話し合う事、決まっている事の区別

問題の意識化

- ◇ 事前の考え、情報の収集

「決まっている事」を掲示することで、場所や時間など「条件」を明確にして話し合いができるようにしましょう。

学級コーナー
などの活用

年間指導計画により題材の設定

- ◇ 児童生徒の共通に解決すべき問題から「題材」を設定

学級の問題等の確認

- ◇ 取り上げる「題材」と学級の問題との関連を吟味

共通の課題の設定

- ◇ 授業で扱う内容を決め、児童生徒と問題意識を共有化

指導計画の作成

- ◇ 本時の指導計画や資料の作成

問題の意識化

- ◇ 課題に対し、学級や自分の現状を調査・省察

事前アンケートをまとめてグラフ化し掲示、気付いたことを交流させておくと本時の課題につながる。また、学級会ノート等を活用し自分の成長を実感できるようにしましょう。

学級会の工夫

集団討議による合意形成へ

提案理由の理解

解決方法等の話し合い

- ◇ 可視化・操作化・構造化
- ・話し合いの状況や経過
[賛成・反対マークの活用]
- ・意見カードの操作
[分類・整理し、比較に効果]

学級全体で合意形成

- ◇ 少数の意見も大切に

集団思考を生かした個々の意思決定へ

自分事として課題を捉える

- ◇ 問題意識を高める資料活用 [グラフ、写真、動画等]

原因を整理し追及する

- ◇ 方向性の明確化と改善の必要性の実感を伴った追及

解決方法の話し合い

- ◇ 協力して個々の意思決定へと向かわせる

個人目標の意思決定

- ◇ 自分の課題に沿って実現可能で自己評価できる内容

事後活動

決めたことの実践

振り返り

- ◇ 活動の成果・過程の振り返り

決めたことの実践・振り返り

- ◇ 努力の成果や過程について、期間を決めて振り返り
[朝の会や帰りの会(ショート・ホームルーム)等の利用と継続化]

次の課題解決へ

よりよい自分へ

【折り合いの付け方の例】

- ☆ 新しい考えをつくる。
- ☆ 意見を合わせる。
- ☆ 条件をつける。
- ☆ 少しずつ全部行う。
- ☆ 共感的に理解し譲る。
- ☆ 多数決を行う。

【特別活動と各教科等との往還】

各教科等における学びを実際の場面で総合的に活用するとともに、特別活動の学びが各教科等の学習の土台になるようにすることが重要です。